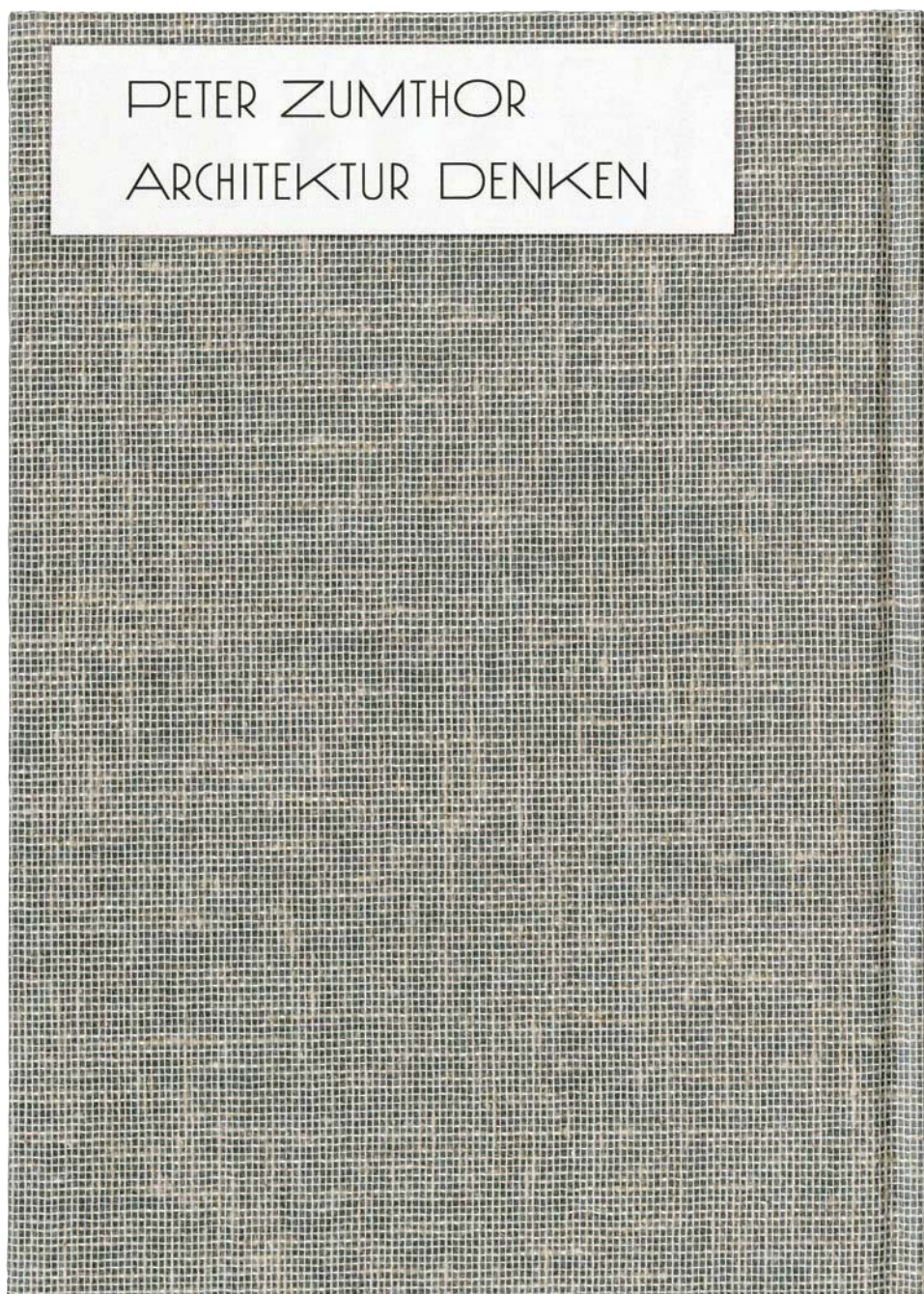


PETER ZUMTHOR, ARCHITEKTUR DENKEN SPECIAL EDITION



この本があつて救われる人は多いと思う。——深澤直人（工業デザイナー）

初の翻訳書の刊行を記念して、ツムトア氏にディレクションをお願いし実現する日本語版オリジナル企画

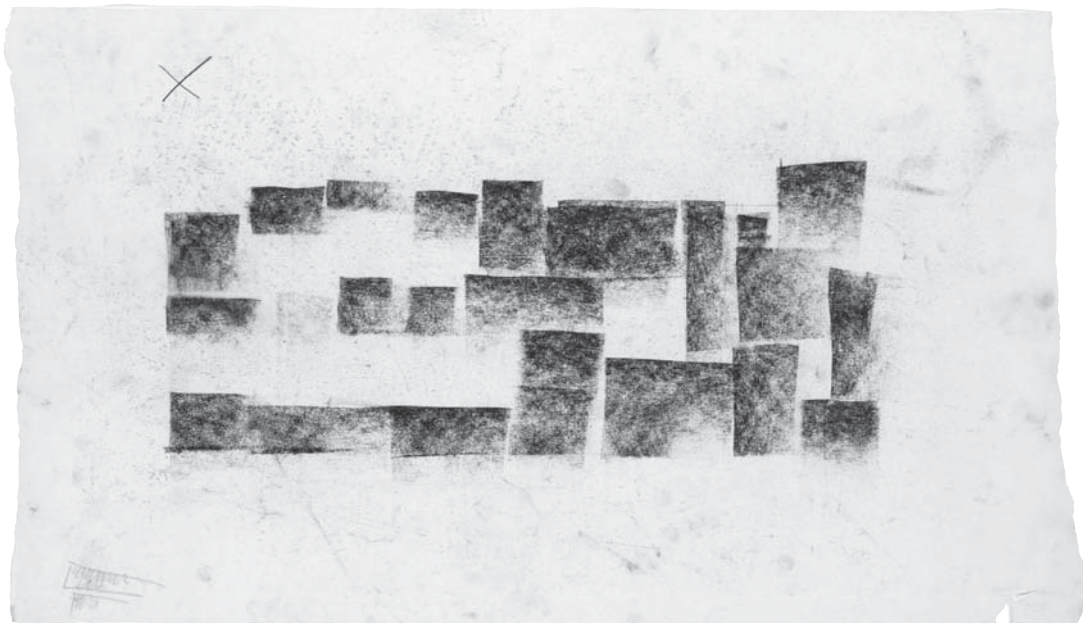
ペーター・ツムトア 『建築を考える』 特装版

訳 鈴木仁子

ブックデザイン=葛西 薫 表紙テキスタイル=須藤玲子 (NUNO) アートディレクション=ペーター・ツムトア
A5判クロス装/函入 120頁 限定300部 ツムトアの建築ドローイング (コロタイプ/便利堂) 一葉付
定価15,750円 (15,000円+税) 2012年12月21日刊行予定 ISBN978-4-622-07679-7 C0052

みすず書房

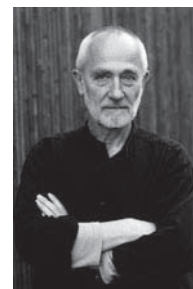
素材、土地がもつエネルギー、構造と細部、光と影の設計に徹底的にとりくみ、詩的で情感にみちた、類稀なる建築空間を生み出してきたスイス人建築家ペーター・ツムトア（ピーター・ズントー）。理想の建築について、美について、光について——創造において信じていること、実在させたいと願うものへの想いを綴った第一エッセイ集。



特別付録
コロタイプによる
ツムトアの建築ドローイング
「Drawing for Therme Vals」
(約210×370mm)

Peter Zumthor (ペーター・ツムトア)

1943年スイス、バーゼルの家具職人の家に生まれる。父の元で家具職人の修業後、バーゼルの工芸学校 (Kunstgewerbeschule Basel) とニューヨークのプラット・インスティテュート (Pratt Institute) で建築とインダストリアルデザインを学ぶ。その後10年間、史跡保護の仕事に携わり、1979年に建築家として独立。以来、卓越した素材づかいでクラフト的に美しく、構造的にも優れた建築を生み出しつづけている。代表作に〈聖ベネディクト礼拝堂〉(1988) 〈テルメ・ヴァルス〉(1996) 〈ブレゲンツ美術館〉(1997) 〈ブルーダー・クラウス野外礼拝堂〉(2007) がある。2008年に高松宮殿下記念世界文化賞、2009年にプリツカー賞受賞。2011年には「サーペンタイン・ギャラリー・パビリオン 2011」を手がけた。現在、スイス・グラウビュンデン州ハルデンシュタインのアトリエにて活動。



© Gerry Ebner

キリトリ線

注文書

ご注文は、小社HPまたは下記注文書にご記入の上書店にてご予約ください。
お近くに書店のない場合は直送いたします(代金引換/送料210円)。FAXで直接小社までお申し込みください。

建築を考える [特装版] _____ 冊 申し込みます

2012年12月21日刊行予定 定価15,750円(税込) ISBN978-4-622-07679-7

お名前 _____

ご住所 〒 _____

電話番号 _____

お申込書店名(取次・番線)